

## 3. 頂いたご意見とご提案の概要

### 3-1. ご意見の概要

#### (1) 社会経済

社会情勢、経済情勢、財政状況等の変化を踏まえた検討を求めるとのご意見がありました。また、外環の整備やインターチェンジの設置に関する採算性や、外環の東名以南の区間が同時に整備されないことで無駄な投資が生じることの懸念が示されました。

#### (2) 交通

外環整備及びインターチェンジの設置により地域の利便性の向上が期待される一方、インターチェンジを設置してもインターチェンジは利用されないのではないかとのご意見がありました。渋滞の緩和については、外環整備による渋滞緩和の期待・懸念や、中央環状線、圏央道が整備されることで外環整備の効果が小さくなることが心配されています。インターチェンジを設置した場合のインターチェンジ周辺への交通集中、道路整備、東名東京インターチェンジ周辺の渋滞などの懸念が示されました。

将来交通量については、算出の根拠や結果の妥当性、誘発交通による影響に対する懸念が示されました。また検討の過程も示すべきとのご意見がありました。その他、インターチェンジの設置の検討は長期的、広域的な視点が重要であることや、既存の道路の改善が大事であると指摘されました。

#### (3) 環境

外環整備にともなう広域的な環境改善効果が期待される一方で、大気質、騒音、振動、低周波音、水循環、地盤沈下、動物・植物・生態系、景観、地形及び地質、緑の量、史跡・文化財、日照障害、電波障害等の地域への具体的な環境への影響や、ヒートアイランドの影響への懸念が示されました。また、影響の予測結果の妥当性等についても懸念が示されました。

#### (4) まちづくり

外環整備にともないジャンクションやインターチェンジ周辺で地域分断が生じることで、生活への影響、コミュニティへの影響、交通の便、学区域、通学路、駅などの主要な施設とのアクセス等への影響が懸念されています。また地上部の有効活用が望まれる一方、環境施設帯や連絡路併設道路の利用方法に対する懸念が示されています。その他、外環を他の用途でも活用できるようにすべき、沿線地域にとってメリットがあることが大事であるとの指摘や、インターチェンジ周辺の土地利用の変化や農業への影響などの懸念が示されました。

#### (5) 安全・安心

外環整備による首都高や環状八号線等の事故削減効果が期待されている一方で、大深度地下方式で外環が整備された場合のトンネル内の走行安全性を確保することが重要との指摘があり

ました。またインターチェンジ周辺での交通事故の増加や、地震などの災害、地下トンネル内での交通事故、火災発生時の対応や地上部への影響などが懸念されています。その他、ジャンクションやインターチェンジ周辺での治安の悪化に懸念が示されました。

## **(6) 工事**

工事中にジャンクションやインターチェンジ周辺に工事車両が集中することで、渋滞、粉じん、騒音、振動、地下水などの環境への影響、道路の安全性が低下すること等が懸念されています。さらに、工事現場における安全管理等に懸念が示されました。

## **(7) 用地・補償**

自分の土地が計画区域内に入るかどうか分からないことによる将来の生活設計の不安や、できるだけ移転が生じないようにしてほしい等のご意見がありました。また、補償や移転の具体的な内容がわからないため心配である等のご意見がありました。その他、大深度地下区間の上部の土地であること、生活環境が悪化すること、イメージが悪くなること等による資産価値の低下が懸念されています。

## **(8) 進め方**

検討の進め方として、検討が長引くことによる税金の無駄遣いが懸念されています。

情報の提供については、外環の必要性や現ルートの妥当性を明確にすべきとのご指摘がありました。また、情報を十分に、なるべく早く、分かりやすく提供することなどが望まれています。そのほか、地域PIの開催案内の方法についてのご指摘や、東名以南の計画に関する情報の提供が望まれています。

意見の把握については、地元住民の意見を把握することが重要とのご指摘や、今後も引き続き意見を聴くことが求められました。

意見の公表、反映については、住民を代表する自治体の意見が反映されることが求められているとともに、利害関係が異なる住民の意見の取り扱い、行政が一方的に決定してしまうこと、オリンピックなど他の計画と関連づけて事業を進めることに対する懸念が示されました。

さらに、スケジュールの見通しがわからないこと、用地買収が長期にわたってしまうことの懸念が示されました。

## **(9) その他**

大深度地下利用の実績が少ないことで、施工時、運用時に問題が発生するのではないかと懸念や心の問題など数値では表せない影響に対する懸念がありました。

## 3-2.ご提案の概要

### (1) 外環の整備

外環の整備に関して、外環は必要、外環を整備すべきだとの提案や、外環は不要ではないか、外環は中止すべきだ、中央環状や圏央道が整備されるまで外環は凍結するべきではないか、外環整備以外の方法で交通問題に対応するべきではないか等の提案がありました。

### (2) 外環本線の構造

外環本線の構造について、大深度地下を活用すべきだ、大深度地下方式を見直すべきではないか、地上に整備すべきだ、高架で整備すべきだ等の提案がありました。

### (3) ルート・ジャンクションの位置

ルート及びジャンクションの位置について、ルートを変更すべきだ、ルートを再検討するべきではないか、ジャンクションの位置を変更するべきではないか等の提案がありました。

### (4) ジャンクションの構造

ジャンクションの構造について、ジャンクションを地下化してはどうか、ジャンクションのランプ部の高さを下げてはどうか等の提案がありました。

### (5) インターチェンジ

インターチェンジについて、インターチェンジを設置すべきだという提案や、インターチェンジは不要ではないか、ハーフインターにすべきではないか、インターチェンジの設置以外の方法で交通問題に対処すべきではないか等の提案がありました。インターチェンジの構造について、インターチェンジを地下化できないか、ジャンクションと一体的に整備できるインターチェンジのみ設置してはどうか、インターチェンジの出入口を増設してはどうか、東八道路インターチェンジと中央道とのランプは造らないではどうか等の提案がありました。

### (6) 環境施設帯

環境施設帯の幅に関して、環境施設帯の幅を広げられないか、環境施設帯の幅を縮小できないか、環境施設帯を設置する延長を長くできないかとの提案がありました。また、環境施設帯の利用方法について、歩道や生活道路を整備すべきではないかとの提案のほか、バスルートや公園、緑地、憩いの場、休憩所(SA)の設置等の提案がありました。

### (7) 換気所

換気所の位置に関して、位置を変更できないか、換気所を分散して設置できないかとの提案がありました。また、換気所の施設について、十分な高さを確保すべきではないか、換気所は目立たないようにすべきではないか等の提案がありました。その他、換気所の設備について、換気所には脱硝装置、集じん装置等の浄化装置を設置できないか等の提案がありました。

## **(8) 料金所**

料金所を地下化できないか等の提案がありました。

## **(9) 東名以南**

東名以南について、早期に事業化できないか、関越道～東名高速間と同時に整備すべきではないか、関越～東名間と並行して検討すべきではないか等の提案がありました。

## **(10) 外環の道路以外での活用方法**

外環を道路以外で活用する方法として、外環を遊水池として利用できないか、外環の中に電気等のインフラを併設してはどうか等の提案がありました。

## **(11) 事故及び災害対策**

事故及び災害対策に関して、避難路を設置すべきではないか、最新の技術を積極的に活用してはどうか、十分な強度を確保すべき、消火対策をすべきではないか等の提案がありました。

## **(12) 環境対策等**

大気質への影響に対する対策として、ジャンクションやインターチェンジをシェルターで覆ってはどうか、バッファを確保すべきではないか等の提案がありました。

騒音への対策として、騒音を抑える舗装を取り入れてはどうか、防音設備を設置すべきではないかとの提案や、振動への対策として、大深度地下区間における地盤の強度や杭への影響に配慮すべきではないか等の提案がありました。

地下水への対策として、通水部を増やしてはどうか、神明の森みつ池を地中拡幅部から回避できないか、トンネル内の排水を池に環流できないか、湧水を保全すべきではないか、水源を復活できないか等の提案がありました。

動物、植物等への影響に対する対策として、生物が移り住む環境を整備してはどうか等の提案がありました。

そのほか、照明や防音壁等の色への配慮、緑の保存、ケヤキの保存、街路樹等の植栽による緑化、公園整備等の提案がありました。

また、工事の環境影響評価の実施や、工事による影響の対策実施等の提案がありました。

さらに、環境影響評価に関しては、第三者機関が客観的に検証すべきではないか、地域住民が環境影響評価をチェックすべきではないかとの提案がありました。また、東名高速への環境対策を実施すべきという提案がありました。

## **(13) 道路交通対策**

インターチェンジ周辺地域への交通集中に対する対策として、インターチェンジ周辺道路を整備すべきではないか、歩道を整備すべきではないか、既存のインターチェンジを改良してはどうか、通り抜け自動車が入り込まないようにならないか等の提案がありました。

#### **(14) まちづくり**

地域分断対策として、代替機能や通学路の確保、駅等とのアクセスの確保、工事中の仮橋架設、行政区の見直し等の提案がありました。

地上部の街路について、地上部街路を整備すべきではないか、地上部には歩道や緑地を整備できないか、地上部街路は不要ではないか等の提案がありました。

その他、まちづくりに関する提案がありました。

#### **(15) 用地・補償**

用地買収や補償について、地下構造になっても土地の買い上げをしてもらえないか、移転が必要な地権者に十分に補償すべきでないか、土地購入時の金額を補償できないか、建ぺい率・容積率の緩和や税の軽減措置をとれないか、計画区域外にも補償すべきではないか、環境への影響や精神的な影響も含めて補償すべきでないか、集団移転ができるようにならないか、代替地を確保し斡旋してもらえないか、代替用の農地を取得できないか等の提案がありました。

#### **(16) 情報提供**

情報提供に関しては、高さや方位を明示できないか、グラフィック・映像・模型等を活用する等、わかりやすく説明してもらえないか、計画内容に関して詳細に提示すべきではないか、議論に必要なデータ等の情報を提示してもらえないか、事例を紹介してもらえないか、スケジュールを提示すべきではないか等の提案がありました。

#### **(17) 意見把握**

意見把握に関しては、住民と十分に協議すべきではないか、学校やPTA等からの意見を把握すべきではないか、「意見を聴く会」や「オープンハウス」を継続的に開催すべきではないか、アンケートを実施できないか、「意見を聴く会」や「オープンハウス」の開催方法を工夫してもらえないか等の提案がありました。

### 3-3. 場所別の具体的なご意見とご提案

#### 東名ジャンクション周辺での計画に関するご意見

**(東名ジャンクション)**

- ジャンクションからの排気ガスや埃による住民(特に子供)の健康や物干しへの影響、(夜間の)騒音・振動が心配。
  - ・ジャンクションを大塚運動公園の地下へ
  - ・シェルター化・ジャンクションの地下化
  - ・東名ジャンクションのランプのドーム化
  - ・全体のドーム化
  - ・地域の子供達の健康状態を調査
  - ・ジャンクション部の予測・評価
- 外環の東名以南が同時に整備されないことで、地上に向かうランプ部が過大投資にならないか懸念。
  - ・東名以南との同時整備
- 将来の生活設計をしたいが、いつ立ち退くことになり、補償がどうなるか分からないので不安。
  - ・早期事業化・立ち退きの個別説明
  - ・計画の進捗状況情報開示
- ジャンクション周辺の景観がどうなるのか分からないので心配。
  - ・東名ジャンクションの地下化
  - ・ランプを東名高速の下に設置
  - ・ランプを野川の下に設置
  - ・東名ジャンクションを砦公園、大塚公園に設置
  - ・照明、防音壁等のカラー等
- ジャンクションにより東京湾からの海風や野鳥の飛来が遮られないか心配。
  - ・東名ジャンクションの地下化
  - ・ジャンクションの高さの明示
- ジャンクション設置によるヒートアイランドの発生が心配。
  - ・現地観測地点の追加
- 計画線外であっても、環境面で被害があったら補償をしてもらえるのか心配。
  - ・工事の早い段階での植栽

**(世田谷通りインターチェンジ)**

- 世田谷通りと周辺生活環境への影響が心配。
  - ・世田谷通りインターチェンジ
- 東京インターチェンジを懸念。
  - ・世田谷通りインターチェンジ
- 利便性よりも環境への配慮が重要。
  - ・世田谷通りインターチェンジ

**(東名高速の側道付近)**

- 現在でも暗く、人通りが少ないので地域の治安が悪くならないか不安。

**(外環の東名以南)**

- 東名以南の計画がどうなるか分からないので不安。
  - ・都市計画決定部分までの整備
  - ・東名以南と併行して検討
- 外環の東名以南を整備する際に、再度工事を行うことにならないか心配。

**(換気所)**

- 換気所からの排気による影響が、地形との関係も含めてどうなるか不安。
  - ・換気所の分散・浄化施設の設置
  - ・脱硝装置、集塵装置の設置
- 換気所からの発熱を懸念。
- 換気所の煙突が景観に与える影響が心配。

**(殿山)**

- 地域で親しまれた地形を残すことが大事。
  - ・東名ジャンクションの地下化
  - ・全体の公園化

**(国分寺崖線と野川の間地域)**

- 昔から空気がたまりやすいと言われているので、換気所からの排気による影響が心配。
  - ・現地観測地点の追加・最新の浄化施設の設置

**(環境施設部)**

- 住民のためになる利用が大事。
  - ・崖山に近い公園形成

**(東名ジャンクション)**

- 東名ジャンクションの地下化
- ランプを野川の下に設置
- 東名ジャンクションを砦公園、大塚公園に設置
- 照明、防音壁等のカラー等
- 現地観測地点の追加

**(料金所・トンネル坑口部)**

- 料金所での自動車の加減速による騒音や排気ガスによる大気汚染が心配。
  - ・東名ジャンクションのランプのドーム化
  - ・料金所の地下化・料金所の大気汚染の事例
- トンネル坑口の景観がどうなるのかに関心。
  - ・地域の声の反映
- トンネル坑口部からの騒音・排気ガスの影響が心配。

**(東名高速道路)**

- 外環の終点になることで、東名東京インターチェンジ周辺の渋滞がひどくならないか心配。
  - ・東名以南の早期事業化・周辺道路の整備
  - ・世田谷通りインターチェンジは不要
  - ・東京インターチェンジの改良
  - ・道路以外での渋滞対策
  - ・周辺の交通状況のシミュレーション
- 東名の渋滞解消が大事。
  - 現況でも大気汚染の影響を受けていることが問題。
  - 現況で東名高速の遮音壁が十分でないことが問題。
    - ・東名高速への環境対策
    - ・防音設備を設置

**(国分寺崖線)**

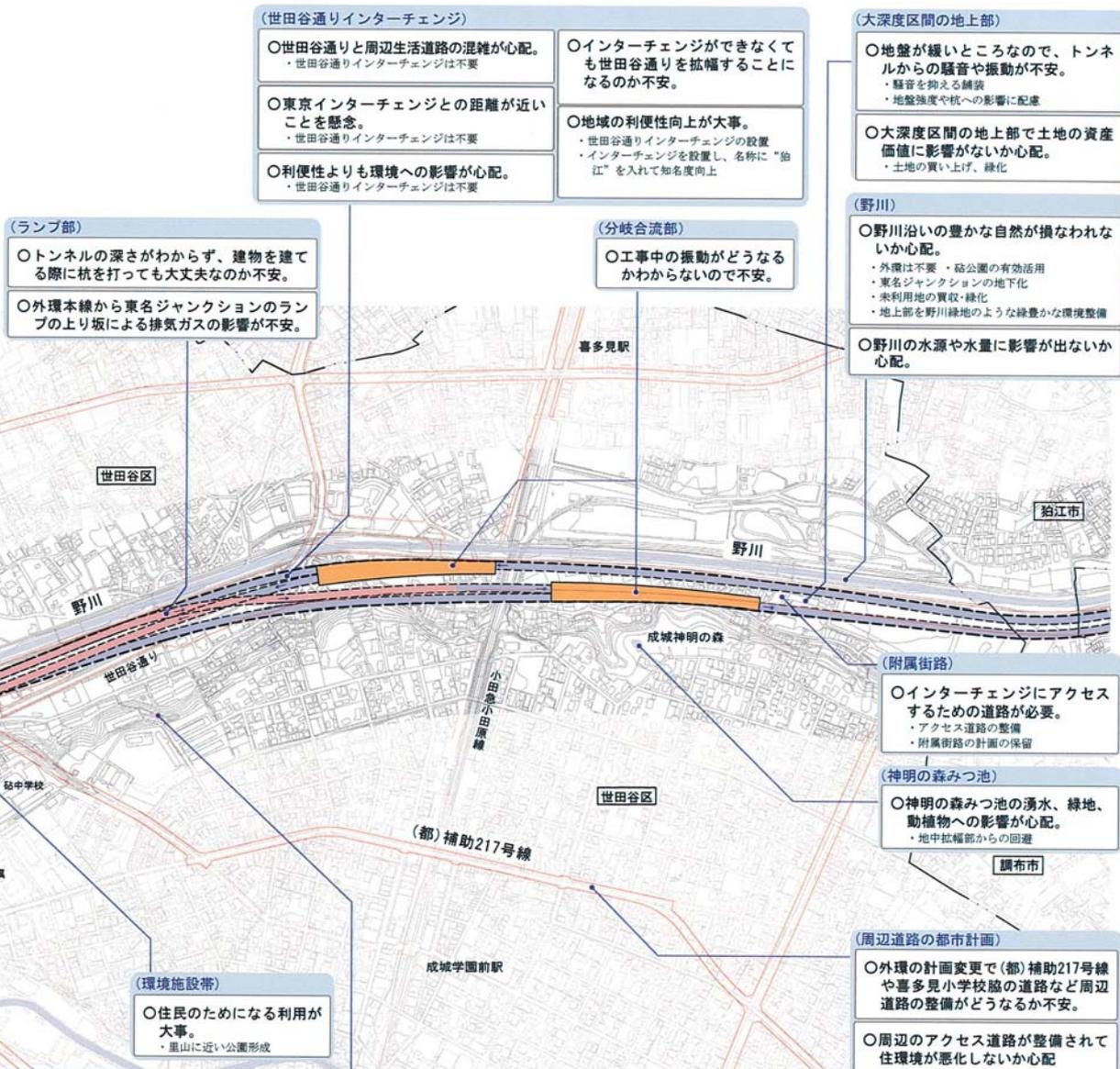
- 国分寺崖線の貫通するのが心配。
- ジャンクションに壊れ懸念。
  - ・東名ジャンクション
  - ・東名ジャンクション

**(地域全体)**

- 崖線、湧水、井戸水、川とそれに伴う動植物、歴史的資産が揃ったこの地区の環境が大切。
  - ・外環は不要・東名ジャンクションを緑地化
  - ・東名ジャンクションの地下化
  - ・ルート選定の根拠、代替案の提示
- 都内でも有数のこの地区の地下水への影響が心配。
  - ・透水部を増やす
- オオタカの営巣への影響がないか心配。
- 国分寺崖線と野川の間で地下水の流れが遮断されることにより、湧水や井戸水に影響が出ないか心配。
- 工事で多くの人々が地域に出入りすることで治安が悪化しないか心配。
- 工事中の振動・音や大型車両の通行による影響がないか心配。
  - ・通学時間の工事車両出入り禁止
  - ・住民との十分な協議



どうな  
 る  
 からの  
 のいか心  
 ートア  
 目で被害  
 るのか  
 る騒  
 配。  
 事例  
 のか  
 風ガ  
 松中学校  
 横学園小学校  
 武蔵工業大学附属  
 中学校・高校  
 とで、東名東京イ  
 の渋滞がひどくな  
 ・周辺道路の整備  
 ンジは不要  
 改良  
 レーション



**(世田谷通りインターチェンジ)**

- 世田谷通りと周辺生活道路の混雑が心配。  
・世田谷通りインターチェンジは不要
- 東京インターチェンジとの距離が近いことを懸念。  
・世田谷通りインターチェンジは不要
- 利便性よりも環境への影響が心配。  
・世田谷通りインターチェンジは不要

- インターチェンジができなくても世田谷通りを拡幅することになるのか不安。
- 地域の利便性向上が大事。  
・世田谷通りインターチェンジの設置  
・インターチェンジを設置し、名称に“狛江”を入れて知名度向上

**(大深度区間の地上部)**

- 地盤が緩いところなので、トンネルからの騒音や振動が不安。  
・騒音を抑える舗装  
・地盤強度や杭への影響に配慮
- 大深度区間の地上部で土地の資産価値に影響がないか心配。  
・土地の買い上げ、緑化

**(ランプ部)**

- トンネルの深さがわからず、建物を建てる際に杭を打っても大丈夫なのか不安。
- 外環本線から東名ジャンクションのランプの上り坂による排気ガスの影響が不安。

**(分岐合流部)**

- 工事中の振動がどうなるかわからないので不安。

**(野川)**

- 野川沿いの豊かな自然が損なわれな  
い心配。  
・外環は不要  
・緑公園の有効活用  
・東名ジャンクションの地下化  
・未利用地の買収・緑化  
・地上部を野川緑地のような緑豊かな環境整備
- 野川の水源や水量に影響が出ないか  
心配。

**(附属街路)**

- インターチェンジにアクセス  
するための道路が必要。  
・アクセス道路の整備  
・附属街路の計画の保留

**(神明の森みつ池)**

- 神明の森みつ池の湧水、緑地、  
動植物への影響が心配。  
・地中拡幅部からの回避

**(周辺道路の都市計画)**

- 外環の計画変更で(都)補助217号線  
や喜多見小学校脇の道路など周辺  
道路の整備がどうなるか不安。
- 周辺のアクセス道路が整備されて  
住環境が悪化しないか心配

**(環境施設帯)**

- 住民のためになる利用が  
大事。  
・里山に近い公園形成

**(国分寺崖線)**

- 国分寺崖線の貴重な自然環境が守られ  
るのが心配。
- ジャンクションによる崖線景観の破  
壊を懸念。  
・東名ジャンクションの地下化  
・東名ジャンクションのランプの地下化

**凡例**

**(場所の説明)**

- 心配や懸念されること。  
・計画に関する提案等
- ・意見をいただいた場所

==	外環の地上部の計画範囲	==	換気所
==	外環の地下部の計画範囲(地上部よりも内側となる範囲を除く)	==	現在の都市計画
==	シールドトンネル部(一部若しくは全ての横断が41mより浅い箇所)	==	進行方向
==	シールドトンネル部(全ての横断が41m以上になる箇所)		
==	トンネル分合流部(深度区分については注書き参照)		
==	地表部の路面(外理)		
==	地表部の路面(外理以外)		
==	地表部のその他の施設		

# 中央ジャンクション・東八道路インターチェンジ周辺での計画に関するご意見

- (大深度区間の地上部)**
- 大深度区間の地上部で振動による影響が心配。  
・地盤強度や杭への影響に配慮
  - 大深度区間の地上部で土地の資産価値が低下するなどデメリットがないか心配。  
・買い上げや建ぺい、容積率緩和、税の軽減措置等
  - 計画線周辺で、まちづくりが進まないことを懸念。  
・地上部の公園化、バスルートでの活用
  - 交通量の多い道路を住宅地に通し安全性が低下することが心配。
  - 広い道路が出来て路上駐車が増えないか心配。
  - 地上部の利用がどのようになるか分からないので不安。

- (環境施設帯)**
- 防犯面から環境施設帯がしっかりと管理されるかが心配。  
・見直し確保
  - 環境施設帯を有効に活用することが大事。  
・休憩所(SA)の設置・地上部の緑化
- (仙川との交差点部)**
- 仙川と交差する部分での河川の空間がどうなるか心配。  
・仙川の遊歩道の確保
- (白百合大学脇の通り)**
- トラックの抜け道となっており、さらにひどくなるのが心配。

- (換気所)**
- 換気所からの排気による大気汚染や騒音等が心配。  
・換気所の分散設置・十分な高さの確保  
・「いいい」の場の設置  
・NO2やS PMの継続的測定  
・ジャンクションのシェルター化  
・換気所の分散設置
  - 換気所による景観への影響が心配。  
・目立たないように

- (北野庚申堂)**
- 地域で大事にしている庚申堂の代替地が確保できるか心配。
- (北野小学校)**
- 通学路の環境変化により子供に対する犯罪が増加しないか心配。
- (料金所)**
- 料金所で自動車が増速することによる騒音や排気ガスの影響が心配。  
・蓋がけ等の対策



- (国道20号インターチェンジ)**
- 調布方面から外環へのアクセス交通が東八道路インターチェンジに集中し、一帯の生活道路に進入しないか心配。  
・国道20号インターチェンジの設置

- (緑ヶ丘の一部等)**
- ジャンクションと仙川で周囲と隔離され、コミュニティの分断や周辺とのアクセスの確保が心配。  
・ジャンクションの地下化・希望者の(集団)移転補償  
・三日月地帯のまちづくりへの国の関与  
・仮橋の架橋・仙川駅と千歳鳥山駅方向のアクセスを確保
  - 川沿いで地盤が悪いので建物への影響が心配。  
・補償

- (地域全体)**
- 大深度トンネルにより上水道でもある地下水や玉川上水、神田川、仙川、野川への影響がないか心配。  
・事前調査が必要
  - 自動車利用の利便性向上が重要。  
・地上部道路の整備  
・インターチェンジ設置
  - 環境が悪化して住み続けられなくなるか心配。  
・行政区の見直し  
・ランプの高さがわかる模型を希望  
・全域を用地買収  
・住民への補償制度の検討

- 住民にとって、メリットがあることが大切。  
・地元のメリットの提供  
・吉祥寺駅南側に改札を設置  
・井の頭線延伸
- 地域の農業への影響が心配。  
・代替用農地の取得  
・東八道路インターチェンジは不要
- 土地の売買や利便性などに関する利害が地域の中で分かれて、しこりが残ってしまわないか心配。  
・換気所を東八道路インターチェンジへ移設  
・東八道路インターチェンジから中央道へのランプをつくらない
- 計画が変更されると都市計画線内の土地が開発されないのではないか心配。  
・買い取りなどの補償
- 中央ジャンクション周辺のまちづくりに住民の意見が反映できるようにすることが大事。

- (中央ジャンクション)**
- 移転先が近場に確保できるか心配。
  - ランプ部で渋滞が生じることを懸念。
  - 工事による騒音・振動などの影響を懸念。  
・工事前に近隣建物、大気環境及び騒音等を調査
  - ジャンクションにより地域が分断され、バスの便が悪くならないか心配。

- (中央道の側道がない)**
- 高速道路直近での側道などバツファの環境施設帯の延長
- (中央道の側道がない)**
- 地域の分断によるコミュニティを懸念。  
・北野四丁目の東側から吉祥寺へ  
・環境施設帯の幅を縮小・周辺道路  
・外環より東側で吉祥寺通りと連絡  
・北野中央通りの代替機能  
・環境施設帯内への側道整備  
・環境施設帯の外に対面通行の3
  - 将来の生活設計をしたい更されても住み続けられ、環境施設帯の幅を縮小・外環・環境施設帯の延長

# 計画に関するご意見

による大気汚染  
十分な高さの確保  
測定  
ルター化  
の影響が心配。

**(北野庚申堂)**  
○地域で大事にしている庚申堂の代替地が確保できるか心配。

**(北野小学校)**  
○通学路の環境変化により子供に対する犯罪が増加しないか心配。

**(料金所)**  
○料金所で自動車が増速することによる騒音や排気ガスの影響が心配。  
・重がけ等の対策

**(東八道路インターチェンジ)**  
○三鷹市の将来性に対する考慮や地域の利便性向上が重要。  
・東八道路インターチェンジの設置

○インターチェンジの設置にともなう、大気汚染や振動などの影響が心配。  
・街路樹、公園づくり  
・緑化や交差点周辺の土地の買上げ

○インターチェンジの設置により住宅地になじまない施設等が立地することを懸念。  
・環境施設帯の幅の拡大  
・緑化や交差点周辺の土地の買上げ

○インターチェンジの設置により、静かで緑多い地域が分断されることを懸念。

○東八道路インターチェンジへのアクセス交通が生活道路に進入し、排気ガス、路上駐車、交通事故が増加することが心配。  
・アクセス道路の整備  
・「小型道路」の活用  
・善福寺周辺地区からの道路整備  
・歩道の整備  
・東八道路インターチェンジは不要  
・最新の浄化設備  
・部分供用はしない

○東八道路がひどく渋滞するような事にならないか心配。  
・インターチェンジ出口を増設

○関越道方向からの出入口までの動線が複雑なことを懸念。

○インターチェンジ入口付近の計画が変更されてどうなるか分からないので不安。

**(周辺の都市計画道路)**  
○アクセス道路の整備により、中原地区が分断されてしまうことを懸念。

○(都)3・4・3号線や(都)3・4・12号線など周辺の都市計画道路の整備がどうなるかわからないので不安。  
・外環と合わせて周辺道路を整備・新たな地域分断を生む3・4・12は不要  
・周辺道路の拡幅  
・詳細な資料の提示

**(中央道の側道がない部分)**  
○高速道路直近での環境への影響を懸念。  
・側道などバッファの確保  
・環境施設帯の延長

**(中央ジャンクション)**  
近場に確保できるか心配。  
で渋滞が生じることを懸念。  
る騒音・振動などの影響を  
近隣建物、大気環境及び騒音等を  
クションにより地域が分断さ  
の便が悪くならないか

**(東八道路インターチェンジ)**  
○生活環境の悪化により地価が下がらないか心配。  
・買い取りなどの補償

○騒音や大気質への影響を懸念。  
・環境施設帯の幅の拡大  
・ジャンクションの地下化

○中央ジャンクションによる景観への影響を懸念。

○立ち退く場合に補償がどのくらいになるか不安。  
・土地購入時の金額補償

**(牟礼の一部)**  
○小中学校への通学路がどうなるか心配。  
・世田谷区へ編入

**(下本宿通り)**  
○工事中を含め、下本宿通りの交通量が増加して安全性が低下することが心配。

**凡例**

**(場所の説明)**  
○心配や懸念されること。  
→ 計画に関する提案等

→ 意見をいただいた場所

- == 外環の地上部の計画範囲
- == 外環の地下部の計画範囲(地上部よりも内側となる範囲を除く)
- == シールドトンネル部(一部若しくは全ての構造が41mより深い箇所)
- == シールドトンネル部(全ての構造が41m以内となる箇所)
- == トンネル分合流部(深度区分については注書き参照)
- == 地表部の路面(外環)
- == 地表部の路面(外環以外)
- == 地表部のその他の施設
- == 換気所
- == 現在の都市計画
- == 進行方向

# 青梅街道インターチェンジ周辺での計画に関するご意見

## (青梅街道インターチェンジ)

- 青梅街道インターチェンジにより地域の景観が損なわれないか心配。
- 工事に伴う騒音や生活の不便、工事車両の通行による渋滞や安全性の低下が心配。
- 青梅街道インターチェンジの予測交通量に対する信頼性を懸念。
  - ・青梅街道インターチェンジは不要
  - ・交通量予測に関する資料の提示
- 青梅街道インターチェンジの設置により、環境の良い善福寺地域への影響がないか心配。
  - ・地域に影響の少ないハーフインターの設置
- インターチェンジの設置により環八への交通流入を減らすことが重要。
  - ・青梅街道インターチェンジは必要
- 大泉インターチェンジの距離が近く、東名方面へのアクセスもできないことから、インターチェンジの利用者が少なく、採算が合うかどうか心配。
  - ・青梅街道インターチェンジは設置しない
  - ・ハーフインターなら不要、フルインター化
  - ・一体構造化
  - ・外環は不要
  - ・早期整備
  - ・東名側への接続も必要
  - ・10号線の整備
  - ・青梅街道インターチェンジ以外の方法で渋滞解消
  - ・青梅街道インターチェンジの必要性を明示
  - ・既存の道路のみを整備
  - ・練馬区は独自に住民説明を行うべ
- 青梅街道インターチェンジ設置により地域が分断され、商業者への影響や歩行者の生活利便に影響がないか心配。
  - ・外環を延伸しない
  - ・青梅街道インターチェンジは設置しない
- 開削工事による地盤や地下水への影響が心配

- インターチェンジアクセス交通が一般道路で渋滞や環境の悪化を引き起こしたり、生活道路に進入することで騒音、振動や交通事故の増大、生活利便性の低下などを招くことが心配。
  - ・外環を延伸しない
  - ・他事例の紹介
  - ・通り抜け車輛が入り込まない工夫
  - ・青梅街道インターチェンジは設置しない
- 青梅街道インターチェンジ設置による立ち退きなど地上部への影響が少ないことが重要。
  - ・青梅街道インターチェンジは不要
  - ・地上部街路廃止
  - ・地権者への十分な補償
- 青梅街道インターチェンジ設置により、大気汚染や騒音・振動など環境が悪化し、子供をはじめとする住民への健康被害が起こらないか心配。
  - ・公道のケヤキの保存
  - ・外環を延伸しない
  - ・青梅街道の騒音対策、遮音壁の設置
  - ・計画区域外への補償
  - ・白紙から検討
  - ・ハーフインターは反対
  - ・周辺の公園化
  - ・地上部街路は不要
  - ・青梅街道インターチェンジを設置しない

## (善福寺公園)

- 地域の貴重な資源である善福寺公園の環境を保全することが重要。
- 善福寺池や善福寺川の水が枯れないか心配。

## (関町南の一部)

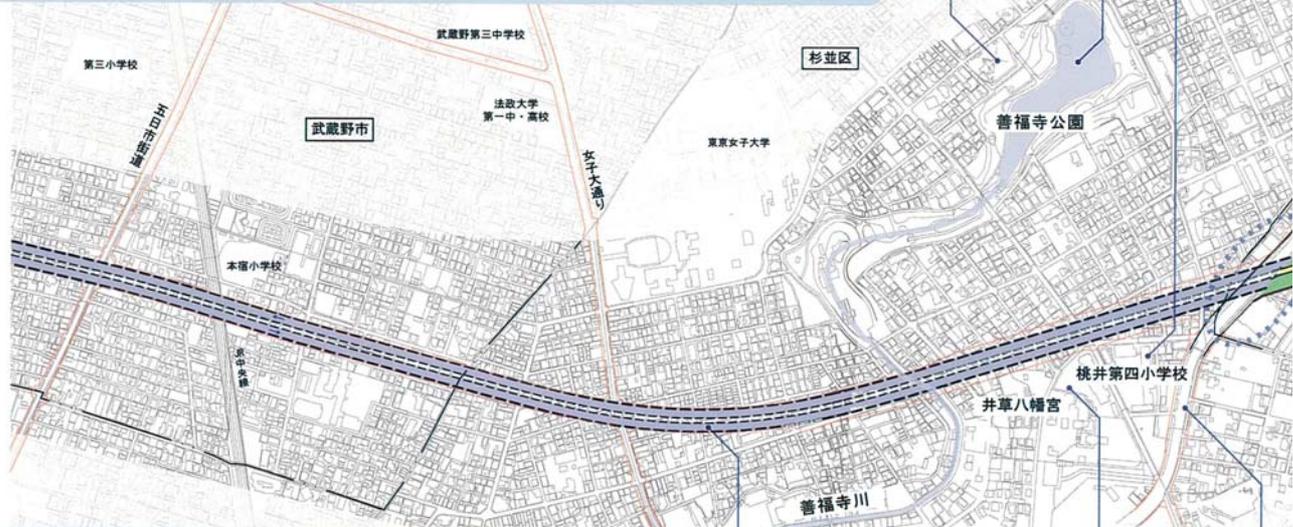
- 幹線道路に囲まれた生活環境の悪化、青梅街道インターチェンジ

## (杉並浄水場)

- 浄水場の水質への影響を懸念。

## (桃井第四小学校)

- 交通量の増加によって、校舎外での授業がで、生徒の健康や学校生活にないか心配。
  - ・外環を延伸しない
- 学区の分断や地域で学での安全面に影響が



## (地域全体)

- 大深度地下トンネルにより善福寺川や地下水への影響、地盤沈下が起こらないか心配。
  - ・地盤沈下に関する詳細なデータの提示
  - ・ルートの変更
- 静かな環境、善福寺公園の水や動植物など、地域の自然環境をトータルに保全することが重要。
  - ・外環は不要
  - ・青梅街道インターチェンジは設置しない
  - ・将来のまちのイメージを提示
- 工事中の騒音や生活上の不便、大型車の通行による安全性の低下等が心配。
- 地域のイメージが悪くなり、地価が下がらないか心配。
- 将来の生活設計をしたいが、計画がどうなるかわからないので不安。
  - ・外環は不要
- インターチェンジへのアクセスの利便性が重要。
  - ・外環は必要
- 水はけが悪く水害が心配。
- 地域の道路ネットワーク等まちづくりをトータルで考えることが重要。
  - ・近隣の都市整備
  - ・公園や駅前整備
- インターチェンジ設置により環境が悪化し、地域から住民が離れていってしまうことが心配。

## (大深度区間の地上部)

- 大深度地下のメリットを生かし、先人が整備した良好な住宅地を保全することが重要。
  - ・青梅街道インターチェンジは不要
  - ・外環/2は不要
  - ・早期実施を希望
  - ・地上部の保全
  - ・歩道や緑地の整備
- 青梅街道インターチェンジがなくても、他のインターチェンジにアクセスする交通による道路混雑や交通事故等が心配。
- トンネルの工事でトンネル内で事故が起こることを想定して、地上部を整備するのではないかと懸念。

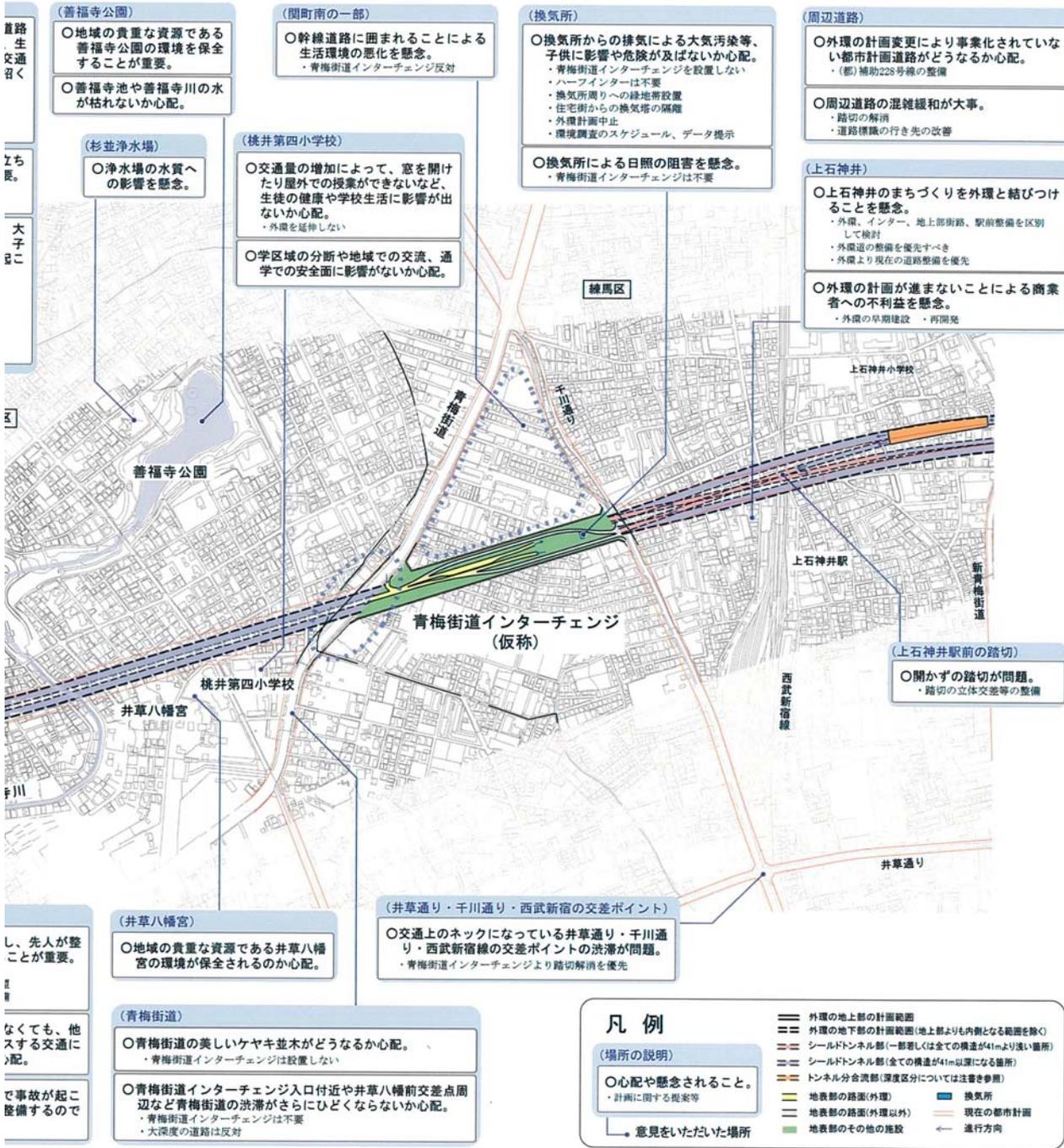
## (井草八幡宮)

- 地域の貴重な資源である井草八幡宮の環境が保全されるの心配。

## (青梅街道)

- 青梅街道の美しいケヤキ並木がどうなるか、青梅街道インターチェンジは設置しない
- 青梅街道インターチェンジ入口付近や井草八幡宮など青梅街道の渋滞がさらにひどくならないか懸念
- ・青梅街道インターチェンジは不要
- ・大深度の道路は反対

# 見



# 大泉ジャンクション・目白通りインターチェンジ周辺での計画に関するご意見

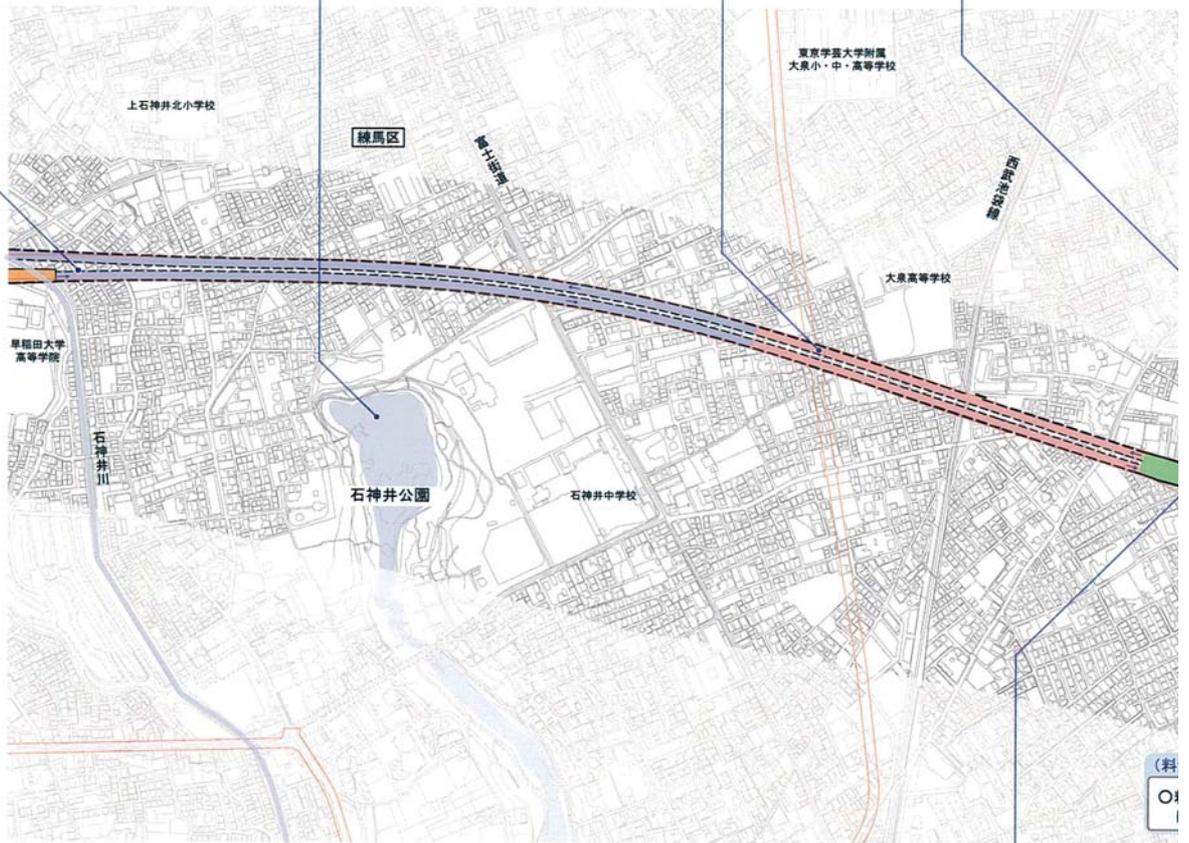
(大深度区間の地上部)  
 ○大深度区間の地上部で振動等による影響が心配。

(石神井公園)  
 ○三宝寺池や石神井池の湧水など、石神井公園の自然に影響がないか心配。  
 ・トンネル内排水を三宝寺池等に横流

(連結路併設道路)  
 ○どのような構造の道路になるのかわからないので心配。  
 ・アクセス道路の幅員と車線等の構造の説明が必要

(大深度より浅い地下区間)  
 ○大深度に入っていく途中区間での振動、騒音が心配。

(大泉街道)  
 ○交通量が多い上、歩道が狭く危険であることが



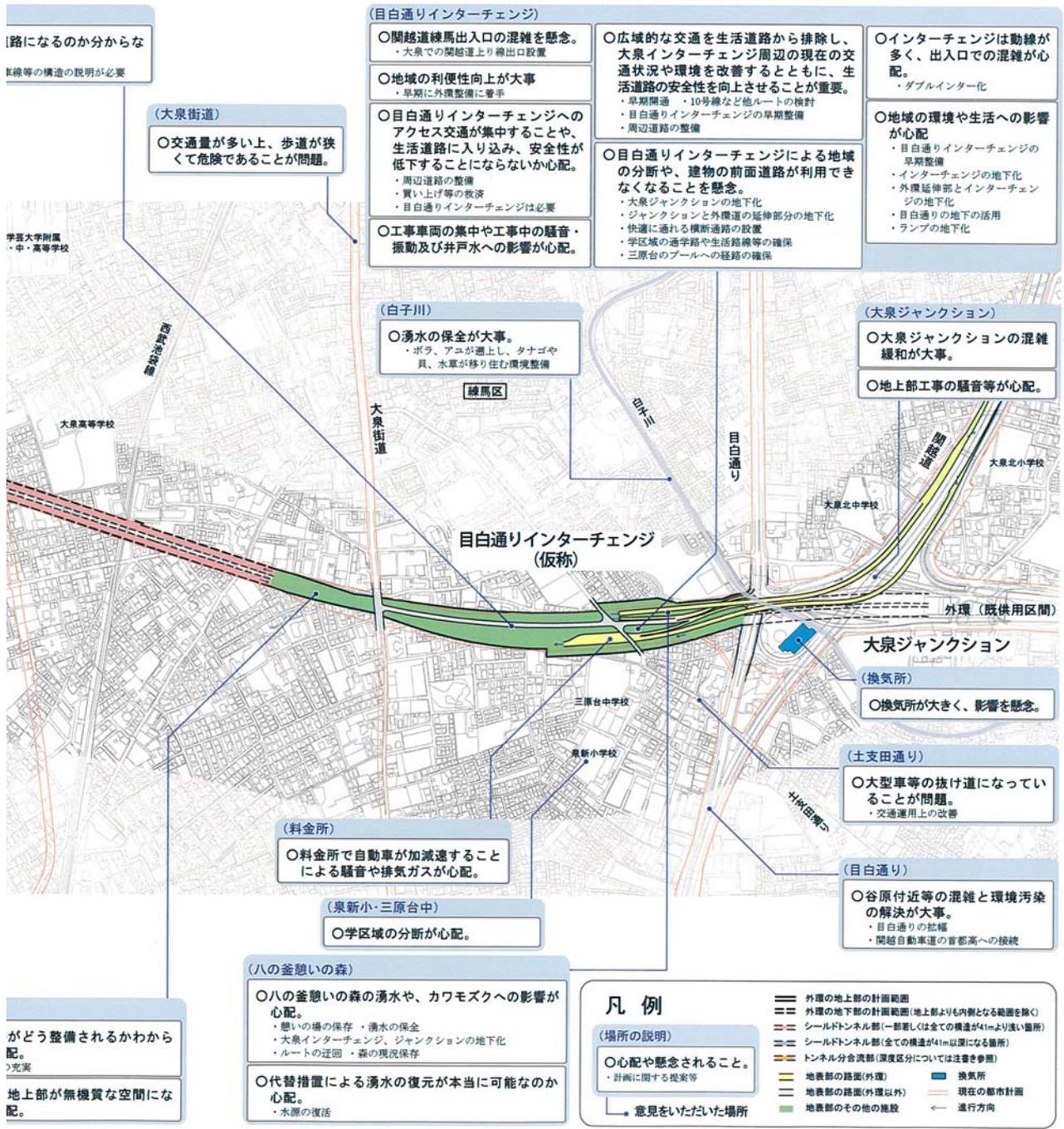
(地域全体)  
 ○まちづくりを考慮することが必要。  
 ・外環を整備  
 ・地上部街路と緑地の推進  
 ・石神井公園、石神井公園駅を防災に活用  
 ・歩行者の道路、緑の多い散歩道、子供が遊べる場所  
 ○大気汚染、地盤沈下等の影響や地域の緑等の自然環境の破壊が心配。  
 ・ジャンクションの地下化  
 ・大気汚染に関する現況の予測データと、埼玉区間ができる以前のデータの提示

○都心に近く緑の多い静かな住宅地の環境が悪くならないか心配。  
 ・地上部道路は不要  
 ・緑の保存  
 ○地域の利便性を向上することが大事。  
 ・環境施設帯に歩道を設置  
 ○周辺の道路整備がどうなるかわからないので心配。

(環境施設帯)  
 ○環境施設帯がどう整備されるかわからないので心配。  
 ・環境施設帯の充実  
 ○埋め戻した地上部が無機質な空間にならないか心配。

(八の釜型)  
 ○八の釜型が心配。  
 ・悪い  
 ・大泉  
 ・ルーフ  
 ○代替が心配。  
 ・水原

# の計画に関するご意見



## 場所に関わらない計画に関するご意見

- (心配や懸念されること)  
・ (提案)

### 大深度地下

- 地震、洪水などの災害時の対応や地上部への影響が心配。  
・ 外環を地上に建設 ・ 避難路の確保 ・ 最新の技術を積極的に活用
- 大深度地下トンネル内での交通事故、火災発生時の対応や地上部への影響が心配。  
・ 外環は不要 ・ 外環を地上に建設 ・ 避難路の確保 ・ 消火対策
- 大深度地下トンネル内を安全に走行できることが重要。  
・ 大深度地下の見直し ・ 十分な強度の確保
- 大深度地下利用の実績が少ないため、施工や運用に問題が生じないか不安。  
・ 外環は不要
- トンネル内への漏水が心配。
- トンネル内に排気ガスが充満してしまうのではないかと心配。

### インターチェンジの設置

- 長期的、広域的な視点から考えることが重要。
- 地域の生活環境を守ることが重要。  
・ インターチェンジは不要
- 地域の一般道路の交通渋滞を解消することが重要。  
・ インターチェンジの設置
- 地域の交通利便性を向上させることが重要。  
・ インターチェンジの設置
- インターチェンジを利用する交通が地域に集中することを懸念。  
・ アクセス道路の整備 ・ 周辺道路の整備
- 採算性がとれず借金が残ることが心配。  
・ インターチェンジは不要

### 環境

- ジャンクションやインターチェンジなどの地上部分を走行する自動車や換気所からの排気ガスによる大気への影響が心配。  
・ 外環は不要 ・ インターチェンジは不要 ・ 地下深く掘る ・ 換気所の分散設置
- ジャンクション、インターチェンジやトンネルからの騒音や振動が心配。  
・ 外環は不要 ・ インターチェンジは不要 ・ 防音壁の設置 ・ 地下深く掘る
- シールドトンネル及び開削部で地下水が遮断され、地盤の沈下、池や川の枯渇、樹木等への影響を懸念。  
・ 外環は不要 ・ インターチェンジは不要 ・ 大深度地下ではなく高架で
- 動植物などの自然環境や生活環境を保全することが大事。  
・ 外環は不要 ・ インターチェンジは不要 ・ 大深度地下賛成 ・ 地上部の計画廃止 ・ 既存道路のみ整備
- 低周波振動の影響が心配。  
・ 地下深く掘る

- 電波障害、日照障害が心配。
- ヒートアイランドの発生が心配。
- 心の問題など数値では表せない影響が心配。
- 誘発交通による想定外の環境悪化が心配。
- 環境基準が達成されるのかどうか不安。
  - ・外環は不要
- 大深度地下利用の実績が少ないため、環境への影響を十分に予測できないのではないかと心配。
  - ・外環は不要 ・なるべく地下深く掘る
- 環境調査や環境影響の予測、評価が適切かわからないので心配。
  - ・詳細なデータの提示 ・第三者機関の客観的検証 ・予測過程の提示 ・地域住民による環境影響評価のチェック
- 供用後、環境に影響が生じた場合の対応が心配。
  - ・補償制度の創設

## 地上部街路

---

- 外環が地下化しても地上部街路が整備され、環境への影響や地域の分断等による影響が生じることが心配。
  - ・地上部街路は不要 ・既存道路を拡張
- 歩道・緑地帯がある交通量の少ない道路であれば、利用する上でありがたい。

## まちづくり

---

- インターチェンジを利用する自動車が生活道路に進入し、大気汚染、騒音などの環境への影響や交通事故が増えることを懸念。
  - ・外環は不要 ・都市計画道路の整備
- 地域の分断を懸念。
  - ・外環は不要 ・インターチェンジは不要 ・ルート変更
- 地上部の有効活用を図ることが大事。
  - ・地上部の緑化 ・遊歩道等の建設による再開発
- バリアフリー化など既存の道路の改善が大事。
  - ・既存道路の安全対策の優先実施 ・電線の地中化

## 工事

---

- 工事中の騒音や粉塵などの影響が心配。
  - ・散水 ・工事車両へのDPP装備の徹底
- 資材や発生土運搬にともなって工事車両が集中し、沿線地域で渋滞の発生や環境等への影響を懸念。
  - ・工事車両の環境影響評価
- 工事現場の安全管理が心配。

## 用地・補償

---

- 実際にとどこまでが計画区域に入ることになるのかが分からないので不安。  
・事前の建物調査の実施
- 計画線内の居住者や事業者などに対する補償や移転がどうなるのかわからないので不安。  
・移転に伴う精神的な影響も含めた補償 ・代替地の確保、斡旋
- できるだけ移転が生じないようにすることが重要。  
・外環は不要 ・インターチェンジの地下化 ・ジャンクションの地下化 ・大深度地下の活用 ・ルートの変更

## 外環の必要性

---

- 人口減少などの社会情勢や財政状況、経済情勢、価値観の変化を踏まえて検討することが必要。  
・外環は不要
- 大深度で通して実際に地上に影響がないのであれば、現状を考えれば外環整備はやむをえない。  
・外環の早期整備
- 移動の効率性や利便性を考慮することが重要。  
・外環の早期整備 ・インターチェンジの設置
- 外環を整備しても、首都高や環八等の渋滞は解消されないのではないかと不安。
- 将来交通量や経済効果の算出根拠や結果が妥当かどうか心配。  
・誘発交通量等の精査
- 中央環状線や圏央道が完成して外環の効果が減少しないか心配。  
・中央環状、圏央道整備まで外環は凍結
- 事業費・維持管理費用が大きいいため、採算がとれなくなり、税金が無駄遣いされるのではないかと心配。  
・外環は不要 ・採算の検討
- 外環整備による首都高や環八の渋滞緩和、環境改善、事故削減に期待。  
・外環の早期整備
- 一般道の整備や公共交通への転換など、他の施策も検討すべき。
- 地元住民が我慢を強いられるだけにならないか懸念。  
・外環は不要
- 外環の必要性や現ルートの妥当性を明確にすべき。  
・ルートの変更（環八の地下へ）

## その他

---

- 外環を道路としての利用に加えて、他の用途で活用できるようにすることを要望。  
・水害時の遊水池利用 ・電気等のインフラの導入
- 検討が長引いて税金が無駄づかいされることを懸念。  
・外環の早期整備

## 進め方についてのご意見

- (心配や懸念されること)  
・(提案)

### 検討の進め方

- 構想段階の議論が十分ではないことを懸念。

### 情報の提供

- 地域住民に計画や検討状況等の情報が十分周知されていないことを懸念。  
・駅や商店街でオープンハウスを開催 ・区市報の活用 ・集合住宅への各戸配布 ・主要駅等での資料配布  
・説明会を多く開催 ・定期的な情報公開
- 住民に情報が分かりやすく提供されることが大事。  
・他事例の紹介 ・グラフィックや映像による説明 ・計画概念図に方位を入れる ・縦断図 ・模型の活用
- 情報開示が事後的であるなど、事業者にも利便な情報しか出ていないのではないかと不安。
- 計画検討の具体化にあたって、環境への影響や対策に関する情報の提供を要望。
- 交通量や環境影響の予測結果等について、検討の過程も示すべき。
- 地上部街路に関する情報提供が断片的で、住民が混乱していることを懸念。
- 地域PIの開催案内の仕方や会の進め方が不満。  
・自治会回覧による会の広報 ・説明会を多く開催 ・地域PI開催の早期周知 ・集合住宅への各戸配布  
・開催日時を設定を工夫 ・司会者を住民側から選出 ・女性の係を配置 ・資料の事前配布
- 検討作業が遅いなどの意見対応に誠意が感じられないことを懸念。
- 環境担当部署や第三者の見解を示すべき。

### 意見の把握

- 地元住民の意見を十分把握することが重要。  
・意見交換会の開催 ・学校やPTA等からの意見を把握 ・休日の事務所開庁 ・自治会での全戸アンケートの実施
- 最初に計画ありきで意見を聴いているのではないかと心配。
- 地上部の計画やインターチェンジの設置は、地元住民の意向を聴いて検討することが重要。  
・地元説明会の開催 ・地域ごとに地域住民と協議
- 今後も引き続き住民の意見を聴くことを要望。  
・地域PIの継続的実施

### 意見の公表・反映

- PI会議や住民を代表する自治体の意見が反映されることを希望。
- 利害関係の異なる住民の意見が公平に扱われるか心配。
- 意見は聴くだけ聴いて、計画に反映せずに、行政が一方向的に決定してしまうことが心配。

## 今後の進行

---

- 他の計画等と関連づけて、強引に事業を進めようとしていないか心配。
- スケジュールの見通しがわからず、将来の生活設計ができないので不安。
  - ・計画スケジュールの明確化
- 訴訟などで用地買収に長期間かかることにならないか心配。
- 地元区市は、外環や関連するまちづくりに対する考え方を明確にすべき。